

第 27 回 関西金亀会歴史街道歩こう会

瀬田川ぐるりさんぽ道と石山寺

2016(平成 28)年 5 月 24 日 火曜日

集合：京阪石山駅前広場

集合場所

J R 石山駅改札を出て右手の広場に集合。
各学年幹事より出席確認受け資料、名札を受け取って
出発の準備を。[トイレ]



9:45 A班からJ班 順次 スタート

行程（石山寺まで約 3.6km）

- 石山駅 → 瀬田川緑道 → 鳥居川水位観測所
- 瀬田の唐橋 → 夕照の道 → 雲住寺・龍王宮秀郷社
- 瀬田の唐橋 → 瀬田川ぐるりさんぽ道 →
- 蛍谷公園 {トイレ} → 京阪石山寺駅前 →
- 石山紫の道 → 昼食(洗心寮) → 石山寺(昼食)
- 石山寺 (記念撮影 自由参詣)
- 参詣後自由解散(石山寺バス停 又 京阪石山駅へ)



石山寺までは鳥居川、瀬田川河畔は車を心配しないで歩けますが、瀬田の唐橋西詰から少しだけ車道を歩きますので、お気をつけて。川畔をウォーキングしていると龍谷大、立命大、京大の漕艇部、端艇部、ボート部の艇庫があり、大学生の練習風景に出会います。東高のボート競走、楽しい思い出がまるで昨日のように思い出されます。



瀬田の唐橋

近江八景「瀬田の夕照」で知られる日本三大名橋の1つ、東から都への入り口で「唐橋を制する者は、天下を制す」と言われ、壬申の乱、恵美押勝（藤原仲麻呂）の乱、治承・寿永の乱（源平合戦）、承久の乱等歴史の舞台になりました。

以前の唐橋はもう少し下流にありましたが織田信長が現在の位置にかけなおしましたが、その後本能寺の変で橋は焼失、再びかけ直され江戸時代は膳所藩の本多家が管理をしていました。現在瀬田川は唐橋の近くにはJR東海道線、新幹線、国道1号線、名神高速、京滋バイパス等主要国道が通り、現代も交通の要所です。

瀬田の唐橋



瀬田の唐橋を東に渡った左岸河畔は、「瀬田の夕照の道」です。

碑に「日本三大名橋」と書かれています。あと2つは？何処でしょう？

「日本三大名橋」には複数の説があるようです。一般的に、錦帯橋(岩国)、眼鏡橋(長崎)と日本橋(東京)とされています。しかし日本橋の代わりに二重橋(東京都)とする説、また瀬田唐橋(滋賀県)も日本三名橋と名乗っていると言う事です。

又「日本三大古橋」とは瀬田の唐橋、宇治橋、山崎橋(淀川、現在橋はない)と言われています。

閑話休題

近江八景 石山の秋月 瀬田の夕照 栗津の晴嵐 矢橋の帰帆
 三井の晩鐘 唐崎の夜雨 堅田の落雁 比良の暮雪

琵琶湖八景 月明彦根の古城 涼風雄松崎の白汀 新雪賤ヶ岳の大観
 煙雨比叡の樹林 深緑竹生島の沈影 夕陽瀬田・石山の清流
 暁霧海津大崎の岩礁 春色安土・八幡の水郷

とりいがわすい い かんそくじよ
鳥居川水位観測所

瀬田の唐橋を東に渡った中州にあるのが、鳥居川水位観測所。明治7年オランダ人技師エッセルによって設置され、琵琶湖の水位観測が始まりました。この水位観測は140年以上も観測され世界的でも珍しい長期的な記録です。

現在琵琶湖の水位は平成4年より彦根、長浜、高島、大津2か所の計5か所の平均で決められていますが鳥居川観測所も瀬田川の洪水予想等重要な役割を担っています。

琵琶湖の基準水位の0mは海拔84.371mであり、これは大阪城の天守閣と同じ高さで、琵琶湖の水は大阪城の天守閣の頂上の高さから瀬田川、宇治川、淀川と約75kmかけて大阪湾に流れます。今までの観測史上の最高水位は明治29年に記録された+3.76mで、最低は平成6年の-1.23mです。琵琶湖の水位はこの先低下傾向になっています。

鳥居川水位観測所を見学の後 瀬田の唐橋を東に渡り、東詰めで河畔にあります。ここは「夕照の道」。

瀬田の唐橋の下を通り、左手に上がりその先に りゅうおうみやひでさとしや 龍王宮 秀郷社 の鳥居が見え、その手前が うんじゅうじ 雲住寺 です。



りゅうおうみやひでさとしや
龍王宮 秀郷社

龍王宮秀郷社は唐橋の東詰にある神社。唐橋の川底に鎮まる竜宮の乙姫を祀る「龍王宮」と平の将門の乱を沈めた藤原秀郷を祀る「秀郷社」の2社が鎮座です。

藤原秀郷は唐橋の下に住む竜宮の乙姫に頼まれて三上山を七巻半する大百足（ムカデ）を弓で退治したと言う伝説があり、百足退治のお礼に龍神の乙姫から俵などを貰ったことから藤原秀郷は「たわらとう た俵藤太」と呼ばれるようになりました。

うんじゅうじ
雲住寺

龍王宮秀郷社鳥居左のお寺が「雲住寺」
龍王宮秀郷社に祀られている藤原秀郷の子孫が蒲生郡を与えられ蒲生の名を称し、その子孫の蒲生高秀（秀郷から数えて15代目）が祖先の功績のあった場所に追善供養のため寺院を建立。またこの境内には藤太によって退治された百足の供養堂があります。



石山紫の道

瀬田川緑道から螢谷公園(トイレ)に上がり、前の螢谷交差点を京阪石山寺駅に渡します。京阪電鉄石山寺駅から大本山石山寺 東大門までの石山寺表参道(約 800m)が「石山紫の道」 紫式部がこよなく愛し、源氏物語に登場させた数十種の草木を配し、四季折々の表情豊かな、通年に渡って楽しめる参詣道です。何の花が咲いているかな？

洗心寮にて昼食

石山寺三門を右に見て、左前方に見えるのが、今日のお昼の「洗心寮」です。ここで、しっかり 休憩を。滋賀県のお土産も豊富です。

大本山石山寺 (東寺 真言宗 西国第十三番 紫式部ゆかりのお寺)

昼食後 A 班から石山寺へ 東大門(重要文化財)前で記念撮影を。記念撮影後は、各グループに1名のボランティアガイドさんの説明で参詣下さい。先ずは 急な石段を上がり、正面に見える石山を見て左の階段を上がったところが本堂(国宝)。本堂では日本唯一の勅封秘仏ご本尊如意輪観世音菩薩が33年に1度の^{ごかいひ}御開扉です。境内は自由参詣 参詣後自由解散です。尚 一番山の上の紫式部殿は別料金です。山道が多いので足元にお気をつけてお詣り下さい。

石山寺 境内図

